

平成28年 5月16日

## 学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	高 浜 高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	----------	------------------	---------

### 1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に應えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、人にやさしい社会づくりに積極的に取り組む人材の育成をめざし、福祉教育の充実に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自らの課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざして不断の授業改善を行う等、これからの時代に求められる資質・能力の育成を図る教育活動の充実に取り組む。

また、これまでの福祉教養コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする改編に取り組む。

### 2 学校教育目標

#### 学校教育目標

- 「学ぶ力」（確かな学力）・「つなぐ力」（福祉の心）・「かかわる力」（社会生活実践力）の育成を3本の柱とし、地域・保護者と連携・協働しながら教育活動を展開する。

#### 育みたい生徒像

- 健やかな身体といのちを尊重する自己管理と他者理解ができる生徒（「自己管理と他者理解」）
- 自ら学ぶ姿勢と他者と協働して学ぶ姿勢を身につけた生徒（「学ぶ力」）
- 人とのつながりを大切にする「福祉の心」を持った生徒（「つなぐ力」）
- 自立した社会人として必要な課題対応能力と規範意識を身につけた生徒（「かかわる力」）

#### 目指す学校像

- 生徒一人ひとりの充実感と達成感を大切にする教育活動を展開する。
- 生徒の成長のために、保護者・地域等と連携・協働を推進し期待に應える。
- 生徒の成長に対し、支援と指導を厭わない活力ある職員集団を形成する。

### 3 計画作成時点での課題

- 普通科高校としての進学ニーズに應えるとともに、福祉教養コース解消後の福祉教育の推進を踏まえた平成29年度入学生以降の教育課程の改編が必要である。
- 生徒の能力を引き出すために、教員同士の協働的な授業づくりを推進する必要がある。
- 地域や保護者と連携・協働した教育活動の活性化が必要である。

#### 4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<p>①授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習指導をおこなう。</li> <li>・「聞き取る力」「読み取る力」「書く力」「要約する力」「説明する力」を高める学習指導をおこなう。</li> <li>・生徒の主体的・協働的な学習を重視し、学習内容の深まりと広がりを追究する学習指導をおこなう。</li> </ul> <p>②教育課程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路を見据えた「学びのコンセプト」に基づく教育課程を実践する。</li> <li>・これまでの福祉教養コースで取り組んできた成果を学校全体の特色とする教育課程を編成する。</li> </ul>	<p>①不断の授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の始まりの小テスト（漢字テスト・単語テスト含む）をすべての教科・科目で取り組む。</li> <li>・要約や小論文等、書く機会を増やす。読書や資料を読み取り、要約したり他者へ説明する機会を増やす。</li> <li>・グループワークによる協議や教え合いの機会を増やす。</li> <li>・授業研究に特化した教科会を開き協働的な授業づくりに取り組む。</li> </ul> <p>②教育課程の改編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習熟度に応じた丁寧な学習指導から、進路を見据えた分野別指導と多彩な体験学習を経て、発展的な学習支援へと3年間の「学びのコンセプト」を充実させる。</li> <li>・「総合的な学習の時間」や「夏期講座」、「特色選択科目」、委員会活動、部活動の中で福祉教育に継続して取り組む。</li> </ul>
2	生徒指導・支援	<p>①規範意識を醸成するとともに、責任感や連帯感の涵養を図る。</p> <p>②自己管理能力を高め、他者を理解する心を育む。</p> <p>③教育相談体制の一層の強化を図る。</p>	<p>①生徒が主体的に規範意識や責任感・連帯感を高めるように部活動や行事の活性化を支援する。</p> <p>②いじめの問題も含め、生徒の人間関係の状況把握に努め、早期の対応ができる体制を強化する。</p> <p>③SC、SSWを積極的に活用するとともに、生徒情報の共有に努める。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの進路実現を果たす。</p> <p>②大学・短大進学における一般受験希望者数の増加を図る。</p>	<p>①進路の手引きを活用し、入学当初からキャリアプランニングの大切さを指導する。</p> <p>②ティームティーチングによる習熟度に応じた丁寧な学習指導をおこなうことで、2学年以降の進路を見据えた科目選択への移行を容易にするとともに模擬試験や夏期講習等の充実を図る。</p>
4	地域等との協働	<p>①人とつながり、福祉の心を涵養するとともに、社会とかかわる力を育成する。</p> <p>②地域の教育力を活用する。</p>	<p>①部活動による参加に限らず、全生徒が地域行事や地域貢献活動へ積極的に参加する機会を増やす。</p> <p>②「学校外の学修」や「地域連携講座」に地域の教育力を活用する。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①いのちを尊重する教育を推進する。</p> <p>②防災教育、防災体制を強化する。</p> <p>③交通安全教育を推進する。</p>	<p>①健やかな身体と自己肯定感を育み、生きることの尊さを学ぶ機会を増やす。</p> <p>②主に津波対策を柱とした訓練を実施する。</p> <p>③スケアードストレイトを実施する。</p>